

# 学校法人長野学園

## 長野大学の「公立大学法人化」について

### 公設民営大学

長野大学（本州大学）は、1966年（昭和41年）、塩田町（現上田市）からの設置費用全額の寄附により設置し、運営は学校法人で行う「公設民営方式」により設立

#### ■ 設置経費の全額を自治体が負担した公設民営大学（抜粋）

長野大学, 東北芸術工科大学, 東北公益文科大学, ☆長岡造形大学, ★名桜大学, ★高知工科大学,  
★静岡文化芸術大学, ★鳥取環境大学 （★は現在公立大学法人へ移行済み、☆は予定）

### 公立大学法人

2004年（平成16年）施行の地方独立行政法人法に基づいて地方公共団体が設立者となり、公立大学の運営を自律的、弾力的に行うもの。  
この制度によって、公設民営方式で設立された大学のうち5大学が「私立」から「公立」へと転換を図り、地域振興に貢献できる人材の育成等教育活動を展開している。

## ■ 長野大学の公立大学法人化の特徴

### I. 私立大学の良さを兼ね備えた「魅力ある公立大学法人」の設置

#### ① 上田市の「ひとづくり政策」の実現に向けて

- 一 若者を地域に定着させ、若者の力で地域振興
  - 一 上田地域で「誕生から義務教育までの一貫したひとづくり」
- ▼
- 「誕生から高等教育までの一貫したひとづくり」

#### ② 長野大学の地域を基盤とした教育と取り組み

- 一 地域の若者を地域に貢献できる人材に育成することが、長野大学の教育の柱
- 一 私立大学としてのノウハウ
  - 学生サービス・学生教育の向上に向けた取り組み
  - 学生募集力の向上に向けた取り組み
  - 経営の効率化に向けた取り組み

### II. 私立大学の経営戦略を取り入れ

#### 上田市に財政負担をかけない「公立大学法人化」を行う

#### ① 公立大学法人の設置は、学校法人長野学園の財産を活用するため**初期投資なし**

- 一 良好な長野大学の財政状況
  - 無借金経営
  - 豊富な内部留保（現金資産）

#### ② 公立大学法人の運営は、「大学運営費交付金」と「学生納付金」で行う

- 一 公立大学法人は大学運営費交付金と学生納付金で大学を運営
- 一 施設整備等における費用は、長野大学の内部留保を活用
  - ※ 大学運営費交付金は地方交付税で措置されている

**大学運営費交付金 + 学生納付金 + 長野大学の内部留保を活用**  
**= 上田市に財政負担をかけずに「公立大学法人」を設置・運営**

## ■ 長野大学 公立大学法人化の3つの方針

- ① 公立大学法人化と合わせて現在進行中の様々な教育改革(参考資料④)を一段と加速化させることで、今まで以上に魅力ある大学づくりを目指す
- ② 長野大学を将来にわたり存続させ、永続的に地域に貢献できる若者育成の拠点をつくる
- ③ 上田市の「ひとづくり政策」に基づいて、地域の若者育成に焦点をあてた公立大学をつくる

## ■ 長野大学 公立大学法人化しておこなう人材育成

- ① グローバル化を見据えながら「地域社会」に焦点を定めて、地域を支える人材を育成
- ② 地域の課題に対し、自分で考え、自分で判断し、自分で実行できる若者を育成
- ③ 個々の若者の個性や能力を高め、地域の若者全体の潜在能力を引き出し、その中から地域のリーダーを生み出す



地域を拠点に広く社会に貢献できる人材を育成

## ■ これまでの教育とその改革の方向性

これまでの長野大学の学びの成果

社会から評価された長野大学の教育研究

- ◆ 日経グローバル「大学の地域貢献度ランキング」 **4年連続 全国1位(私大部門)**
- ◆ (独)日本学生支援機構 優秀学生顕彰 **6年連続受賞** (学術分野、社会貢献分野)
- ◆ 農林水産省「食と地域の『絆』づくり」で**優良事例に選定**  
(山口地区の伝統野菜である地大根「山口大根」の保全活動)
- ◆ 2012年度社会福祉士国家試験合格率 **全国7位** (受験生50名以上の私大53校中)

長野大学がこだわる「地域内就職率」の高さ

- ◆ 2012年度地域内(県内)就職率 **73%** (全国大学平均 52%)



現在、この地域を支える人材の育成を目標とし、  
地域を支える若者育成の新たなモデルを全国に発信すべく  
「教育改革」を進めている

学生数減少傾向(少子化)の中で、  
**3年連続で「志願者増」を達成**

(2012年度から2014年度)



さらに地域に若者が集まり活躍できる拠点が必要

## ■ 大学と自治体との結合による「若者育成と地域振興の拠点」づくり

自治体と大学が協働して人材育成と地域振興の拠点をつくる

## ■ 長野大学の公立大学法人化 地域社会のメリット

### 公立大学法人化の効果

東信地域の若者の流出を  
阻止し流入を促進

地方交付税活用により  
上田市の財政負担なしで大学運営

大学に若者が集まり活性化する  
ことによる地域への経済効果

地域の若者を地元で育て、地元で活躍してもらうことで、若者が地元に着（地域の担い手を育成）

## ■ 市民のメリット

上田市に財政負担を  
かけることなく、

- ・ 学費の負担を下げるができる
- ・ 自宅から通える範囲に公立大学ができる
- ・ 若者を地元で育て、地元で活躍してもらうことができる
- ・ 長野大学の研究資源を活用し、新たな地域産業を創出、生涯にわたる学び直しの機会の提供、市民生活への学術面からの貢献

## ■ 公立大学(直営)と公立大学法人の特徴

「私学経営の強み」と「行政の強み」を結合できる制度＝「公立大学法人」

	公立大学(直営)	公立大学法人
運営・財政	設置する自治体が運営	自治体から独立した法人が自律的に運営 設置する自治体が「国からの運営費交付金(地方交付税)」を支出
教職員の身分	公務員	非公務員



長野大学は、「公立大学法人」による公立大学を目指す

# 長野大学が取り組んでいる〈教育改革〉

## 長野大学は、若者の潜在的知性の開花を支援する

### ■ 教育改革の目的

#### 職業能力の育成

地域社会に貢献するために必要な具体的な職業的基礎能力の育成

#### 新たな時代に常に適応できる能力の育成

生涯にわたって、学び直し、新しい自分をつくる、自己刷新能力の形成

#### 大局的視点に立った適切な判断力の育成

人生の岐路にあたって自力で判断できる市民的判断力形成

### ■ 教育改革の具体的方法

#### 職業能力を高めるために「資格取得」と「大学の学び」を融合させる

資格取得の5つの特別コース、社会福祉士等の国家資格、教職課程の充実

#### 真に地域が求めている能力を育成するために「地域を学びのフィールド」にする

地域社会をフィールドとする学習活動を行うことで、在野の人々の経験知を肌で学び、それを大学の科学的知識と結合させる。

#### 対話的学びを通して、「視野を広げ」、「自身で考える力」を高める

- ・ 一方通行の知識刷り込み型の講義ではなく、対話型討論を基本として、思いがけない視野の刷新と拡大を狙う少人数講義とゼミ
- ・ 自分の得意や専門と違う世界を知ることによって、得意や専門を刷新する「方法的な教養」の涵養

#### 知的鍛錬のために全身的身体活動を重視する

- ・ スポーツの必修化と身体を使った自己表現(演劇、舞踏、太鼓演奏等)の正規カリキュラムへの導入
- ・ 全員参加の球技大会、サークル活動の活性化



長野大学は、若者の潜在的な知性の水準の高さを信じ、  
この潜在的知性に火をつけて彼らを活性化させ、  
彼らがひとり前の職業人、市民として育つことを目指す